

令和4年度大阪府立大学校友会第1回評議員会 議事録

令和4年度大阪府立大学校友会第1回理事会が、令和4年6月18日(土)午前10時30分より、ZOOMと中百舌鳥キャンパス学術交流会館にて開催された。

議事に先立ち、事務局から評議員会の成立要件を満たしている旨の報告とともに、また、会議の形態がZOOM会議を併用して開催することになったことについての承認を得て、評議員会の成立を確認した後、辰巳砂学長と仁科会長の挨拶があり、仁科会長が議長となって議事に移った。

《議事》

1. 評議員の交代等について

大学法人評議員の交代について説明があり、了承された。

同窓会の会長変更等に伴い評議員が変更になることの説明があり、了承された。

2. 役員の交代等について

同窓会の会長変更に伴い役員が変更になることの説明があり、了承された。

3. 校友会入会状況について

事務局から資料3に基づき、令和3年度の校友会入会状況について説明があった。

4. 令和3年度事業・収支決算について

事務局から資料4-1に基づき、令和3年度に実施した卒業生による就職セミナー（卒業生との懇談会）、白鷺賞の贈呈等の事業について報告がなされた後、事務局から、資料4-2に基づき令和3年度の収支決算等について報告、そして菊田監事から資料4-3に基づき監査報告がなされ、それぞれ了承された。

5. 令和4年度事業計画について

議長から資料5に基づき、令和4年度事業計画について提案がなされた後、1～10の項目について事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

11の項目 府大校友会事務所移転について了承され、今後の校友会事務所の連絡先、場所、地図を含めて連絡頂きたいとの要望があった

6. 令和4年度予算について

議長から、資料6に基づき、令和4年度予算について提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

(質問1) 公立大校友会との共催事業での府大校友会と公立大校友会での予算はどの様に配分されているのか

(回答1) 府大校友会、公立大校友会のそれぞれで前年実績と同額を予算にあげており、

トータルでは2倍の予算額になっている 参加対象を旧府大・旧市大と拡張している事に因るが来年度以降は単純に2倍にするかどうかは検討する
この件につき、今年度の決算をどの様に切り分けるかが課題とのご指摘があった

(意見1) 学生支援について、あと4~5年で府大校友会予算がなくなる。公立大校友会の状況を踏まえて継続してほしいとのご意見があった

(意見2) 地域同窓会の調整と、新しい組織を立ち上げるリミットを考えてほしい
旧市大には地域同窓会に対する支援がないので、新しい基準で支援するための“支援の基準作り”を求める要望があった

(回答2) 旧市大が支援がないからと言って、旧府大も突然支援をやめる事はない
今後協議していく。

7. 大阪公立大学校友会の状況について

事務局から、資料7-1に基づき、大阪公立大学校友会 設立総会が開催された事の報告と大阪公立大学校友会 役員が決定した事の報告があった。

事務局から、資料7-3に基づき、大阪公立大学校友会への入会状況が説明された。

事務局から、資料7-4に基づき、大阪公立大学校友会広報 WG からの報告事項であるHP運用についての説明がされた。

8. 大阪府立大学創基140年記念事業について

ステーキホルダー連携推進室 村上課長代理から、資料8-1、資料8-2に基づき、創基140年事業について説明と、寄付についての状況説明があった。

<その他>

(1) 校友会事務所の開所時間の変更が承認された。

変更前：毎日(月~金) 9:00~17:00 → 週3日(月・水・金) 10:00~17:00

(2) 今回の理事会議事録署名人として菅野正嗣評議員及び松田博幸評議員が指名された。

<その他の質問>

(1) 単位同窓会で市大と府大の統合を進めており、関連する単位同窓会の事務の人が結集できる場所(部屋)を確保したいが同窓会だけでは解決できない。大学法人側の窓口を教えてください

(大学側回答) 同窓会の活動支援はステーキホルダー連携推進室、事務スペースの貸し出し窓口は総務。できるだけ大学も支援していきたい

《議事録署名人》

大阪府立大学校友会理事会議長（会長）

仁科亮子 

大阪府立大学校友会 評議員

落野正嗣 

大阪府立大学校友会 評議員

松田博幸 

